

「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2015」の結果について

平成27年12月15日

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

内閣府 地方創生推進室

「地域経済分析システム(RESAS:リーサス)」を活用して、国民の皆様にも自らの地域を分析してもらい、地域を元気にするような政策アイデアを募集する、「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2015」の最終審査会及び表彰式を、12月13日(日)に開催し、高校生以下の部、大学生以上一般の部、それぞれにおいて地方創生担当大臣賞及び優秀賞並びに協賛企業賞を決定しました。各賞の政策アイデアにつきましては、対象とされている自治体や地域において広くご紹介いただければと思います。

1. 最終審査会の結果について

「地域経済分析システム(RESAS:リーサス)」を活用して、国民の皆様にも自らの地域を分析し、地域を元気にするような政策アイデアを募集する、「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2015」の最終審査会及び表彰式を、12月13日(日)に開催し、高校生以下の部、大学生以上一般の部、それぞれにおいて地方創生担当大臣賞及び優秀賞を以下の通り決定しました。各賞の政策アイデアについては次の URL よりご覧いただけますので、対象とされている自治体ないし地域において広くご紹介ください。

<http://expo.nikkeibp.co.jp/bdc/resas/contest2015/>(コンテスト公式サイト(日経 BP 社))

<地方創生担当大臣賞>

○高校生以下の部

福島市立岳陽中学校・岳陽中学校イノベーション部

「中学生の視点から地域の魅力を再発見し、観光プランを作る」(福島県福島市)

○大学生以上一般の部

筑波大学社会工学域 都市計測実験室

「日本の将来を描写する北海道津別町 若い世代が地域を解析する」(北海道津別町)

<優秀賞>

○高校生以下の部

大口明光学園高等学校・チーム高 2B

「“そん出会い、牛さあつなぎもす”プロジェクト」(鹿児島県伊佐市)

○大学生以上一般の部

株式会社ビジネスクロス・長野県諏訪チーム

「長野県諏訪地域経済を観光周遊バスで元気にする 観光地までと観光地間の交通手段を転換」(長野県諏訪地域(岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村))

<協賛企業社長賞>

○帝国データバンク賞

徳島県庁・リーサス活用実践チーム

「“RESAS”から見る！「サテライトオフィス」の効果」(徳島県、徳島県神山町・美波町)

○ナビタイムジャパン賞

上田昭弘(基山町商工会理事)

「教育の町キャンパスタウンきやま構想」(佐賀県基山町)

○ビザ・ワールドワイド賞

チーム 24 分ですむまち

「さらに良質なベッドタウン 24」をめざして」(東京都西東京市)

○カスタマー・コミュニケーションズ賞

名古屋大学大学院情報科学研究科・尾張御庭番衆

「相対的な農業特徴分析に基づく企業的農業と滞在型農業政策」(岐阜県坂祝町、静岡県御殿場市)

○セールスフォース・ドットコム賞

高橋涼花(福島県立ふたば未来学園高等学校)

「未来につなげる新商品プロジェクト！～高校生と商店街のコラボでみんなを元気に～」(福島県広野町)

○日本マイクロソフト賞

三浦奈々美(仙台白百合学園高等学校)

「若者が「とどまる」街 若者が「あつまる」街～学都仙台における“企業附属大学”システム～」(宮城県仙台市)

2. 大臣賞・優秀賞の授賞理由について(審査委員コメント)

<大臣賞> 高校生以下の部

福島市立岳陽中学校・岳陽中学校イノベーション部

「中学生の視点から地域の魅力を再発見し、観光プランを作る」(福島県福島市)

調査もプレゼンも非常にしっかりしていた。トップバッターとして緊張したと思うが、時間もぴったりだった。リーサスを活用して社会課題を把握して、その仮説だけでなく、聞き取り調査で補っていくというプロセスが素晴らしかった。さらにそれを、中学生の強みを生かす楽しい旅の提案ということで、自分たちのできる一歩を踏み出し、それを大人と連携してもう既に動き出しているという点が素晴らしかった。何よりも評価したいのは、地方の課題を国や大人に任せるのではなく、まず中学生の自分たちで出来る一歩を踏み出していくという主体性。これから地域を良くしていくのは皆さんのような若い力にかかっている。地域活性の担い手としてぜひ頑張ってもらいたい。

<大臣賞> 大学生以上一般の部

筑波大学社会工学域 都市計測実験室

「日本の将来を描写する北海道津別町 若い世代が地域を解析する」(北海道津別町)

研究室が一丸となって提案をされ、津別町の実態や課題をしっかりと冷静に受け止めているということが素晴らしかった。特に、エビデンスとしてリーサスを使い、それによって津別町の特徴を、まさに実験の視点も含めて分析をしていた。その中で、津別町は、他の市町村への通勤者が多い、あるいは、空き家が多いといった課題を明確にされ、あわせて農業や林業が

産業として競争力を持つという津別町の強みも見出された。また、自分たちでいろんな調査をされているということで、1回だけ訪れて(終わり)というのではなく、(何回も訪れ、)そこに住んでいるのに近い状況にあるということにより、町内の飲食店が減少しているというデータに気づいたのではと思う。特に、独自のアンケート調査を行い、住民の皆様が、価格が安く雰囲気の良い居酒屋や喫茶店を望まれているという身近なニーズを的確に把握されていた。データから新たな気づきを得るとともに、実際に津別町に滞在されているという強みを発揮しながら提案がなされたということであり、地域の政策立案のお手本となるような素晴らしい活動・提案であったと思う。今後も色々な地域でこのような動きが広がっていくようにという念願も込めて選出した。

<優秀賞>高校生以下の部

大口明光学園高等学校・チーム高2B

「“そん出会い、牛さあつなぎもす”プロジェクト」(鹿児島県伊佐市)

クラス一丸となってプレゼンをされていたのが素晴らしかった。そして、リーサスを使って、畜産が伊佐市の強みであることに気づき、さらに、仔牛の繁殖がその活性化に有望なのではないかとあたりをつけたところが、データに基づいた政策立案ということで、プロセスとして素晴らしかった。ネットによる遠隔の餌やりの新しい技術、シェアハウスという新しい概念をそれと結びつけ、さらに、聞き取り調査を行い、まず自分たちでやってみようという第一歩を踏み出していた点も素晴らしかった。地方活性の担い手、女子高生が頑張ってくれることを期待する。

<優秀賞>大学生以上一般の部

株式会社ビジネスクロス・長野県諏訪チーム

「長野県諏訪地域経済を観光周遊バスで元気にする 観光地までと観光地間の交通手段を転換」(長野県諏訪地域(岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村))

(リーサスの)観光マップを使い、各自治体への観光客の訪問状況を的確に把握し、それに基づいて政策提言をされており、まち・ひと・しごと創生会議でも言われている、「地域間の連携」の大切さということから、広域観光連携のための二次交通という、全国各地で課題となっているテーマについて、汎用性のある提言をしていただいた。実行可能性についても具体的な試算が行われており、きっとこれが現実化していくのだろうと、非常に説得力のある提言だった。何より、諏訪地域の個々の観光地のメリットを十分に認識した上で、しかし個々の力では宿泊客を呼べないことから、連携の大切さを非常に前向きに取り扱っている。これを成功させ、先駆的な事例として実現できればと思う。

【お問い合わせ先】

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

担当 松本、堀口 電話:03-3581-4541



地方創生担当大臣賞 高校生以下の部
福島市立岳陽中学校・岳陽中学校イノベーション部



地方創生担当大臣賞 大学生以上一般の部
筑波大学社会工学域 都市計測実験室



優秀賞 高校生以下の部
大口明光学園高等学校・チーム高2B



優秀賞 大学生以上一般の部
株式会社ビジネスクロス・長野県諏訪チーム



400人収容の会場は満席に



石破大臣・受賞者・審査委員・協賛企業で記念撮影